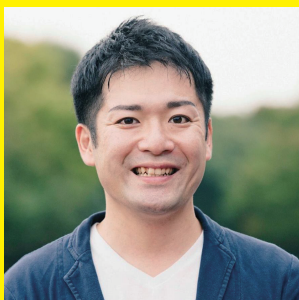


若者の政治参加・ 社会参加を促す取り組み

2016年6月19日に公職選挙法が改定され、選挙権の年齢は20歳以上から18歳以上に引き下げられました。そして、今年度中には成人年齢も18歳に引き下げる民法の改正案も提出されます。若者の政治参加、社会参加により、社会、環境、コミュニティーはどのように変わっていくのか。参加される皆様とも話を深めていきます。

講演会では若者の政治参加、社会参加を促す活動現場の最前線に立つお二人、NPO法人グリーンバード代表、港区議会議員の横尾俊成さん、NPO法人僕らの一步が社会を変える。代表理事の後藤寛勝さんをお迎えします。また、若者の社会貢献という観点から「Do for Others」、明治学院創設者ヘボン博士が生涯貫いた精神「他者への貢献」、その創設から受け継がれる本学の理念の再考を試みます。



横尾 俊成 NPO 法人グリーンバード代表／港区議会議員

1981年、横浜市生まれ。早稲田大学大学院修了後、広告会社の博報堂を経て現職。まちの課題を、若者や「社会のために役立ちたい」人の力で解消する仕組みづくりがテーマ。第6回、第10回マニフェスト大賞受賞。月刊『ソトコト』で「まちのプロデューサー論」を、『日経カレッジカフェ』で「僕ら流・社会の換え方」を連載中。著書に『社会を変える』のはじめかた』（産学社）、『18歳からの選択 社会に出る前に考えておきたい20のこと』（フィルムアート社）。



後藤 寛勝 NPO 法人僕らの一步が日本を変える。代表理事

1994年、新潟市生まれ。中央大学卒。18歳から若者と政治をつなげる機会と場づくりを行う活動を始める。同団体の法人化と同時に、地域の担い手を育む仕組みとして「票育」を開始。今年度は、25歳以下の若者で構成される行政機関「若者委員会」を契約自治体に設立。2015年10月、内閣府地方創生進室／内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局RESAS専門委員に就任。横尾氏との共著書『18歳からの選択』（フィルムアート社）。

2018年

3月21日

水 [講演会] 13:30-15:30
祝 [懇親会] 16:00-17:30

参加費
無料
(要申込)

明治学院大学 白金校舎1201教室（東京都港区白金台1-2-37）

[主催] 明治学院大学 社会学・社会福祉学会 卒業生部会

[参加申し込み／お問い合わせ] 総務担当:加藤純夫

[電話&FAX] 042-579-1086 [メール] skat_1949@yahoo.co.jp